

IWAKI IR Report

株主の皆様へ
第78期 中間報告書
2016年12月1日▶2017年5月31日

- ▶ P1 トップインタビュー
代表取締役社長 岩城 慶太郎
 - ▶ P3 セグメント別の概況
 - ▶ P5 イワキグループ会社のご紹介 vol.3
メルテックス株式会社
— お客様とともに、素晴らしい未来のために —
 - ▶ P7 上半期連結決算ハイライト
 - ▶ P8 第6回株主様アンケート 集計結果のご報告
 - ▶ P9 小さな社会貢献活動への取り組み
 - ▶ P10 会社概要・株式情報
- 裏表紙▶ ホームページを
リニューアルいたしました

詳細なIR情報の入手には当社IRサイトをご活用ください

イワキIR 検索

<https://www.iwaki-kk.co.jp/ir.html>



イワキ株式会社

証券コード：8095

トップインタビュー



イワキ株式会社
代表取締役社長

岩城 慶太郎

株主の皆様におかれましては、平素より当社グループ事業へのご理解とともに厚いご支援を賜り、誠にありがとうございます。

ここに当社第78期第2四半期累計期間(2016年12月1日から2017年5月31日まで)における営業状況のご報告と通期業績の見通しをお伝えし、グループ中長期ビジョンおよび中期経営計画にもとづく今後の展望についてご説明させていただきます。ご一読の上、さらなる飛躍を目指す当社グループに引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

2017年8月

表紙写真:

当社グループ アプロス社のシルキーカバーオイルブロックによりモンドセレクション4年連続金賞受賞した授賞式の舞台「マルタ島」



NEWS!!

シルキーカバーオイルブロックは、通販売上・化粧品下地部門**第一位***を獲得しました。(※TPCマーケティングリサーチ(株)「化粧品下地に関する市場調査」2016年)

Q 1 第2四半期までの営業状況をお聞かせください。

A 1 主要セグメントがすべて増収し、
期初予想を超える大幅増益を達成しました。

第2四半期までの営業状況は、主要4事業セグメントの売上高がいずれも前年同期を上回り、利益面では医薬・FC事業における生産性改善効果に加え、化学品事業における損失縮小が進んだことなどから、期初の予想を超える大幅な増益を達成しました。

事業セグメント別に振り返りますと、医薬・FC事業は、医療用医薬品において主力外皮用剤の売上が大きく伸び、医薬品原料分野では、新規開発医薬品向け原料や治験薬原料の受託に伴う売上が増加した他、ジェネリック医薬品向け原料や一般用医薬品向け原料も堅調に推移しました。これらの売上拡大とともに、各分野における生産性改善への取り組みが奏功したことにより、当事業は増収・大幅増益となりました。

HBC事業は、機能性食品原料及び化粧品原料分野において新規自社原料及び新規自社企画品の販売に成果が得られ、通販化粧品分野でも主力製品が通販化粧品下地部門で売上高日本一となるなど、好調を示しましたが、広告宣伝の強化に伴い費用が増加しました。そのため当事業は、増収ながら減益となりました。

化学品事業は、表面処理薬品分野において国内販売が堅調に推移しましたが、海外向けが計画未達となりました。表面処理設備分野は、国内企業および韓国企業の設備投資減少による影響を受け、厳しい状況となりましたが、グループ内の最適地製造やコスト削減活動が利益面で効果を

上げました。結果として当事業は、増収とともに営業損失の縮小を遂げました。

食品事業は、天然調味料と農産加工品において新規受注の獲得が進んだことに加え、関連会社製品の販売が伸長し、利益面では物流費等の効率化が寄与しました。これにより当事業は、増収および黒字転換を果たしました。

以上により上期の連結業績は、売上高280億4千3百万円(前年同期比4.5%増)、営業利益8億2千6百万円(同149.6%増)、経常利益9億7百万円(同168.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益8億6千7百万円(同813.4%増)となりました。なお同純利益の大幅な増加は、投資有価証券売却益の計上等によるものです。

Q 2 中期経営計画の進捗状況をご説明願います。

A 2 今のところ順調に計画を折り返し、
最終年度の目標値は達成可能圏内にあります。

当社グループは、創業111周年を迎える2025年11月期へ向けて、グループ中長期ビジョン「Vision “i-111” (アイトリプルワン)」を策定し、その第1段階として2016年11月期から3ヵ年中期経営計画を始動しました。本計画は、2018年11月期の連結業績における「売上高600億円」「営業利益10億円」「ROIC4.0%以上」を目標に掲げています。計画2年度目の当期は、前述の通り第2四半期までの営業状況が好成果を上げ、今のところ順調に3ヵ年計画を折り返しています。そのため本計画の目標値は、十分に達成可能圏内にあると捉えています。

下期は、引き続き医薬・FC事業の堅調が見込まれ、化学品事業においても一層の業績改善が期待できる状況です。通期の連結業績は、売上高580億円(前期比5.2%増)、営業利益13億6千万円(同39.2%増)、経常利益14億円(同30.6%増)、親会社株主に帰属する当期純利益8億4千万円と、期初の予想を維持していますが、現在下期の動向等をあらためて精査しており、業績予想の修正が必要となった際は、速やかに開示いたします。

Q 3 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

A 3 「策揃え」企業としてグループ機能を発揮し、
成長性と収益性を高めてまいります。

このたびの中間配当は、予定通り1株当たり3円(前同期同額)とさせていただきます。期末配当についても、今のところ同3円(前同期同額)を予定しています。今後も、さらなる業績向上により、株主の皆様のご期待に答えるべく努力いたします。

当社グループは、グループ中長期ビジョンおよび中期経営計画を通じて、お客様の課題を解決する「策揃え」企業への転換を果たしつつあります。今後は「ナンバーワン」製品・事業への注力を推し進めながら、グループ機能を従来以上に発揮していくことで、成長性および収益性を高め、資本効率を向上させてまいります。

株主の皆様におかれましては、当社グループ事業の長期的な成長・発展にご期待いただき、引き続きご支援のほどお願い申し上げます。

セグメント別の概況

お取引先様の課題解決に向けた様々なニーズに当社グループのあらゆる機能で応える「策揃え」を実現し、変革スピードを向上させるため、プロダクト毎のバリューチェーンに従って医薬・FC(Fine Chemical)事業、HBC(Health & Beauty Care)事業、化学品事業、食品事業の4事業にセグメントを再構築いたしました。

売上高構成比 (第78期上半期)

食品事業 6.9%

化学品事業 11.0%



医薬・FC事業

※FC=Fine Chemical

イワキ株式会社
岩城製薬株式会社

◆ 事業内容 ◆

医薬品原料・医薬品の開発・製造から販売、また臨床検査薬などの販売も行っていきます。

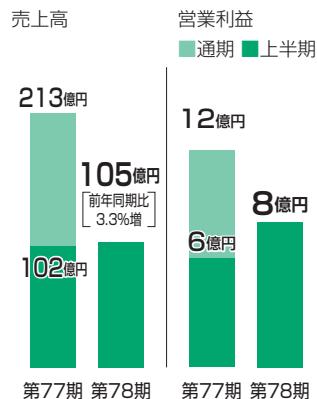


◆ 当上半期のポイント ◆

医薬品分野は、ジェネリック医薬品のアトピー性皮膚炎治療剤、抗真菌剤をはじめとする主力外用剤の売上が大幅に増加。

医薬品原料分野は、ジェネリック医薬品向け及び一般用医薬品向け原料が堅調に推移。

◆ 業績推移 ◆



HBC事業

※HBC=Health&Beauty Care

イワキ株式会社
APROS

◆ 事業内容 ◆

一般用医薬品、化粧品原料・機能性食品原料の販売、化粧品の通信販売およびOEMなどを行っています。



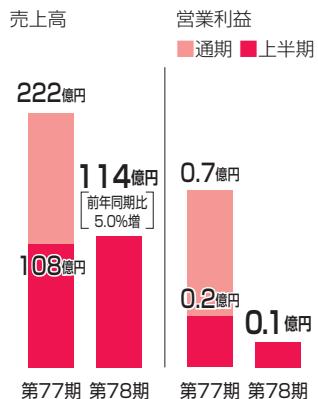
◆ 当上半期のポイント ◆

機能性食品原料及び化粧品原料分野は、全体として堅調に推移。

一般用医薬品を主体とした卸売分野は、堅調に推移。

通販化粧品分野は、主力製品が通販化粧品下地部門で売上高日本一になるなど好調に推移。

◆ 業績推移 ◆

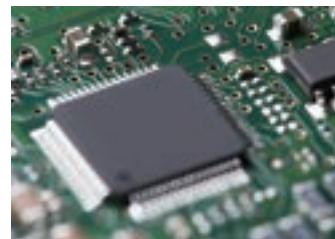


化学品事業

Meltex

◆ 事業内容 ◆

表面処理薬品の製造・販売、化学品原料などの販売を行っています。

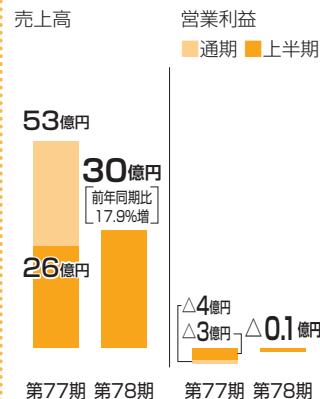


◆ 当上半期のポイント ◆

表面処理薬品分野では、国内において堅調に推移するも、大型案件遅延の影響もあり全体では計画を下回る。

表面処理設備分野では、グループ内の最適地製造やコスト削減活動により営業損失が縮小。

◆ 業績推移 ◆



食品事業

イワキ株式会社
ポーエン化成株式会社

◆ 事業内容 ◆

食品原料などの製造・販売を行っています。

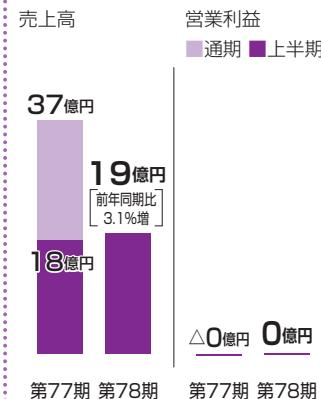


◆ 当上半期のポイント ◆

天然調味料と農産加工品における新規受注獲得と関連会社製品の伸長により、売上は全体として堅調に推移。

利益面は、増収効果と物流費等の効率化により、黒字へ転換。

◆ 業績推移 ◆





お客様とともに、 素晴らしい未来のために

メルテックス株式会社
代表取締役 社長

古橋 勝美

Q 1 | メルテックスの事業内容を コーポレートスローガンとともにご紹介ください。

メルテックスはイワキグループの中では特殊な、表面処理薬品を製造・販売する企業です。

主要用途はプリント基板、電子部品、半導体などのエレクトロニクス分野および自動車部品です。メルテックスはいち早く香港および台湾に進出し、現在は中国、韓国に販売子会社を持っています。また、タイには販売子会社と薬品製造工場を有しています。さらには、欧米市場に提携パートナーを通じて製品展開しており、グローバル展開している日系のお客様および現地企業に対してサポートを行っています。

「世の中のあらゆるものと素晴らしい未来をつなぐ架け橋」をスローガンに、きめ細かいサポート体制で多様なニーズにお応えし、最先端の製品開発により「困ったときはメルテックスに聞こう」と思っただけのような活動しています。また、SHE-EG（安全・健康・環境・倫理・真心）に力を入れ、事故・怪我が無いよう徹底した安全管理のもと環境にも配慮した製品の開発に力を入れています。

Q 2 | 化学品の製造販売に関わるメルテックスと イワキの関係をご説明願います。

以前は、メルテックスは製造と技術サービスおよびマーケティングを行い、イワキの旧化成部品を通じて販売していました。現在は旧化成部品の一部を当社の中に組み入れ、

製造から販売まで一貫して自社内で行っています。原料はイワキおよび同じグループの岩城製薬を通じての調達があり、グループ内での相乗効果を生み出しています。イワキの市場とメルテックスの市場は異なりますが、原料は共通したものもあり、情報交換を含め相互の協調体制は深まっています。また、海外展開の加速により、協力案件は更に増えています。

Q 3 | 今後に向けた経営課題と その取り組みについてお聞かせください。

プリント基板の高密度化に伴い、プリント基板製造に半導体技術の要素が多く取り入れられるようになりました。メルテックスは半導体市場でも存在感を発揮しており、複合技術により高機能分野での成長を図っています。また、自動車のエレクトロニクス化が進むことで、部品供給メーカーやレイヤーに変化がおきていることに加え、新規参入メーカーも登場し、ビジネスチャンスが生まれています。私たちは直接のユーザーである部品メーカーやめっき專業者に対しては、高機能製品の提供や安定して使用いただくためのサポートを行っています。同時にエンドユーザーである電子機器メーカー、半導体メーカー、自動車メーカーにも直接提案活動を行っており、認定取得に向けた活動をしています。これらの活動を通じて、メルテックスはグローバルでの更なる成長を目指します。イワキグループが掲げる「Vision “i-111”」にグループ中核企業の一社として大きく貢献できるよう努力して参ります。

施設のご紹介

熊谷工場(埼玉県熊谷市)

- ・大規模生産
- ・クリーンルーム製品製造
- ・半導体製造用めっき薬品製造
- ・金属不純物分析設備



熊谷工場全景

技術研究所とCSセンター(埼玉県さいたま市)

- ・エレクトロニクス関連部品をはじめ、あらゆる産業分野に重要な表面処理（めっき）薬品をここで開発しています。
- ・メルテックスは環境を重視し資源の再利用に重点を置く、表面処理工業薬品分野における研究開発型の企業です。
- ・お客様をサポートするCSセンターが同じ敷地内にあります。



クリーンルーム UBM(無電解めっき)
めっき装置クラス1000



技術研究所とCSセンター外観

商号：メルテックス株式会社 
本社 〒103-0023
東京都中央区日本橋本町四丁目8番2号
設立：1960(昭和35)年10月26日
販売区域：日本全域、東アジア及び東南アジア諸国

事業内容：電子工業用薬品の製造販売 表面処理薬品(めっき用)の製造販売 化学機器の設計・施工 化学薬品、金属の分析及び回収

ホームページ：<http://www.meltex.com/>

メルテックス

検索

上半期連結決算ハイライト

売上高
営業利益
経常利益
親会社株主に帰属する四半期純利益

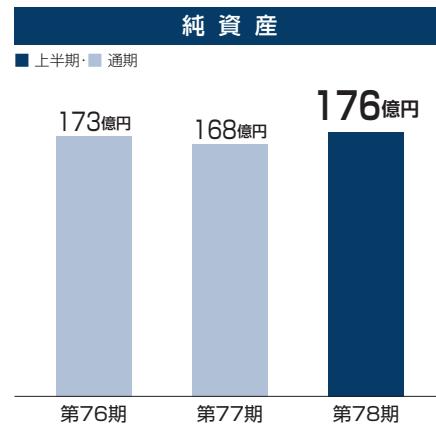
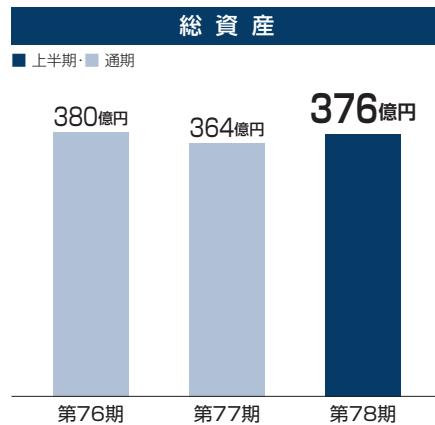
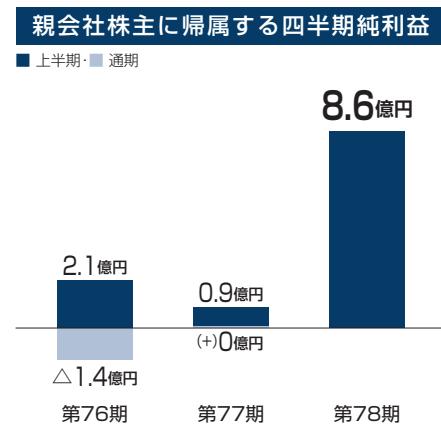
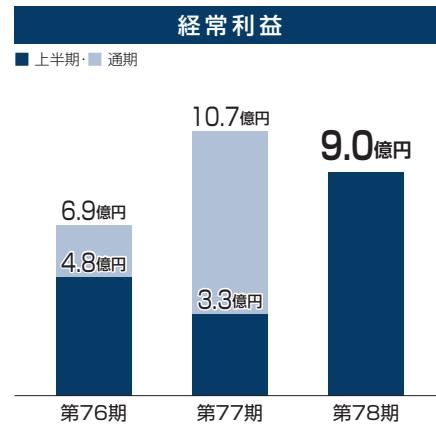
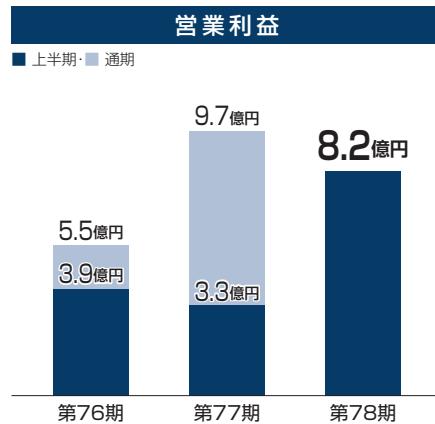
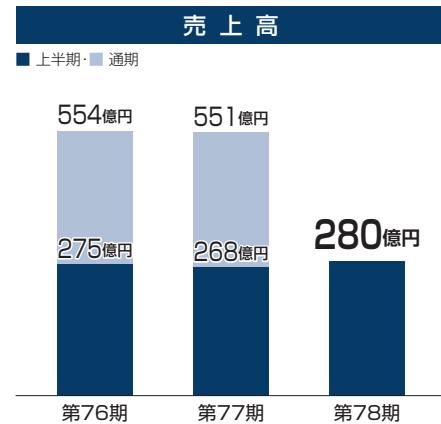
第77期上半期

268億円
3.3億円
3.3億円
0.9億円



第78期上半期

280億円
8.2億円
9.0億円
8.6億円



第6回株主様アンケート 集計結果のご報告

アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。その結果概要につきまして、ご報告させていただきます。

「株主の皆様へ」(報告書)についての感想、当社に対し今後期待されること、その他ご意見・ご感想 (一部抜粋)

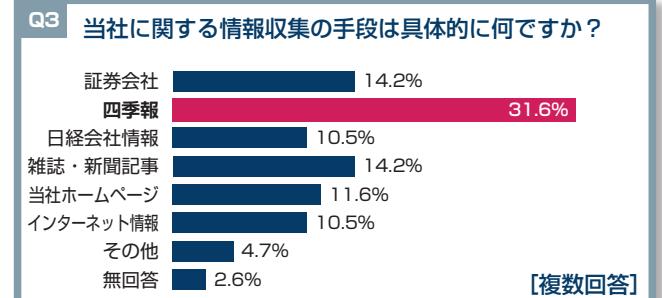
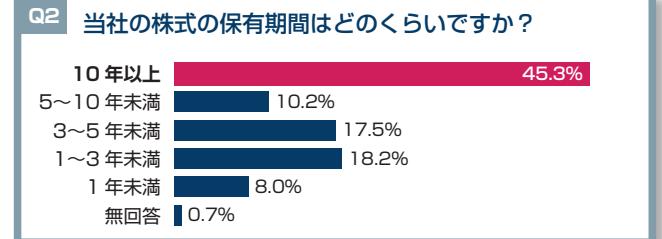
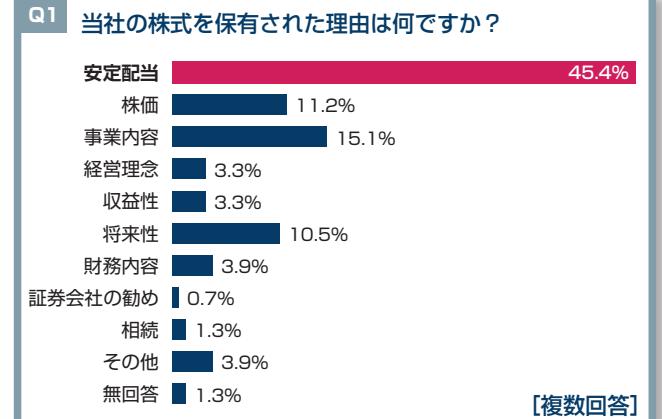
- 7ページ連結決算ハイライトは数字が大きくてとても見やすいです。(50代：一般株主)
- 小さな社会貢献への取り組みは新鮮だった。(70代以上：一般株主)
- 株主優待があれば長期保有を検討。(40代：一般株主)
- せっかく株価が上がったのですから株価を維持するために株主優待でもされたいかがでしょうか。(60代：一般株主)
- 長期株式保有に対して、特典などを考えてほしい。(50代：一般株主)
- トップインタビュー・セグメント別概況が分かりやすく良い。中計の意気込みが伝わってくる。(70代以上：一般株主)
- 社会貢献活動への取り組みを知り会社への好感度が高まりました。(70代以上：一般株主)
- ジェネリック医薬品原料の拡大、化粧品原料の営業活動に期待します。アクセンチュア的分析と判断に期待します。(60代：一般株主)
- 若社長になったのだからイワキ独自のオンリー one 製品を作ってください。(70代以上：一般株主)
- 株主としては会社も信頼しておりますのでさらに努力をしていただき配当金額を見直してください。(70代以上：一般株主)

これまで、株主の皆様から様々なご意見等を頂戴いたしました。寄せられたご意見すべてを貴重な財産として、日々の経営や IR 活動に生かしてまいりたいと考えております。今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。
イワキ株式会社 IR 担当スタッフ一同



株主様アンケート回答者

回答者数 **129名** (回収率=2.49%)



小さな社会貢献活動への取り組み



中央区 まちかどクリーンデー



2017年5月30日(ごみゼロの日)に、東京都中央区と東京薬事協会の共催による「まちかどクリーンデー」に参加いたしました。

当日は、イワキ及びグループ会社の社員が、道路や植え込みの清掃を行いました。



献血活動



2016年12月14日に、メルテックスの熊谷工場において献血活動を実施いたしました。

今年で7年連続の実施となり、多くの社員が献血に協力いたしました。



普通救命講習



2017年4月26日・28日に、本社及びノーススクエア(北営業所)において、社員向けの普通救命講習を実施いたしました。

「いざ」という時に行動できるように、胸骨圧迫、AEDの取扱い、止血法等を学びました。



会社概要 (2017年5月31日現在)

会社概要

社名	イワキ株式会社
本社所在地	東京都中央区日本橋本町四丁目8番2号
創業	1914年(大正3年)7月10日
設立	1941年(昭和16年)9月20日
資本金	26億4千万円(東証1部上場)
社員数	(単体) 273名 (連結) 955名
主な事業内容	医薬・FC事業 HBC事業 化学品事業 食品事業
主な事業所	・大阪支社 大阪府大阪市
所在地	・富山支店 富山県富山市 ・名古屋支店 愛知県名古屋市 ・福岡支店 福岡県福岡市
主要取引銀行	三菱東京UFJ銀行、みずほ銀行、三井住友銀行

取締役および監査役

代表取締役会長	岩城 修	取締役	古橋 勝美
代表取締役社長	岩城 慶太郎	取締役	越智 大藏
常務取締役	藤田 久	取締役	川野 毅
常務取締役	大森 伸二	常勤監査役	関根 和夫
常務取締役	今野 高章	常勤監査役	山口 誠
取締役	熱海 正昭	監査役	吉田 孝
取締役	伊藤 龍雄	監査役	守山 淳

株主メモ

事業年度	毎年12月1日～翌年11月30日
期末配当金受領株主確定日	毎年11月30日
中間配当金受領株主確定日	毎年5月31日
定時株主総会	毎年2月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話：0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う。 公告掲載URL https://www.iwaki-kk.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

- (ご注意) 1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式情報 (2017年5月31日現在)

株式の状況

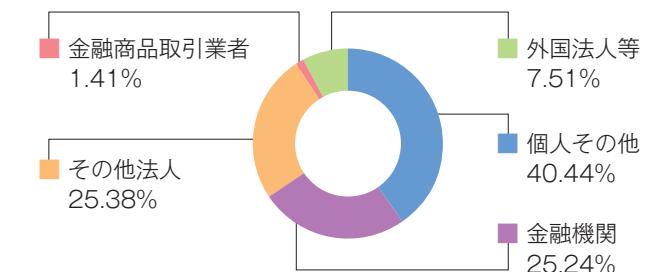
発行可能株式総数	136,000,000株
発行済株式の総数(自己株式903,229株を含む)	34,357,380株
株主数	4,318名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社ケーアイ社	3,771	11.27
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口)	2,156	6.44
株式会社ヘルスケア・キャピタル	2,119	6.33
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,188	3.55
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,014	3.03
岩城 修	970	2.89
イワキ従業員持株会	935	2.79
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	800	2.39
株式会社大阪ソーダ	658	1.96
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口5)	552	1.65

(注)持株比率は自己株式(903,229株)を控除して計算しております。

株式分布状況(所有者別分布状況)



(注) 小数点第2位まで記載(第3位以下は切り捨て)しております。持株比率は自己株式(903,229株)を控除して計算しております。

このたび皆様の声に基づき、イワキのホームページをリニューアルいたしました。ホームページでは、様々な企業情報やIR情報をお届けしています。どうぞお気軽にアクセス、ご利用ください！

スマートフォンでもご覧いただけます。



皆様方からのアクセスをお待ちしております！

<https://www.iwaki-kk.co.jp/>

▲各事業内容のご紹介は勿論のこと、当社事業の強みや特徴などについても詳しくご説明しています。



イワキ 株式会社

〒103-8403
東京都中央区日本橋本町四丁目8番2号
電話：03-3279-0481



環境保全のため、FSC®認証紙と植物油インキを使用して印刷しています。